



この本は「しなの鉄道線沿線地域まちづくり勉強会」から生まれました。

長野市から軽井沢町にかけて広がるしなの鉄道線沿線地域は近年、豊かな自然や暮らしやすい環境が県内外から注目を集め、多くの人を惹きつける場所になっています。

この地に住まい、暮らしている人々は日常的に市町村の垣根を超えた生活をしています。そこでまちづくりに、市町村を超えた考えが必要だと話し合い、「しなの鉄道線沿線地域まちづくり勉強会」がスタートしました。

そして約半年をかけて、この地がどんな地域だったらいざ、この地にどんな施設や空間が必要だろう、と新たな鉄道沿線地域の市町村職員、しなの鉄道、上田電鉄とともに行政区分や立場を超えて、話し合う場をもってきました。

その内容をまとめたものがこの「まちづくりディスカッションブック」です。

この本をもとに、しなの鉄道線沿線地域のまちづくりについて話し合う場や、機会を生み出したい、という思いを込めています。

ここに掲載した内容は、あくまで勉強会メンバーの考えです。まちづくりはいろいろな人が関わる行為でありその歩みに正解はありません。真の意味で必要なのは、まちづくりを語り合う対話そのものだ、私たちは考えています。そして多くの活動が生まれることを願っています。

「まちづくりディスカッションブック」をつかった理由...

まち

ひとにやさしい信州人
まじめでかたくなさくない
実はとても議論好き！
横断歩道はひと優先！
ひとのチカラを応援！
でも、適度に個人主義

ところ

新鮮な農作物と「ラエテ」に富んだ食文化
(高級料理もローカルフードも)
多種多様なお酒の産地
(日本酒、ワイン、ウイスキー)
地域内外でつながりあう街道文化
(旧街道とその宿場町、本陣)
近代的で便利な施設
(モール、アクトビラ)
歴史や風情ある建物
(蔵や民家、昭和レトロなアツツ)
せいたく活用された空間
(こども向け公園、キャンプ場)

土台

ふたんから「ゼイタクな」日常
豊かな地形が生み出す風景(山、川、丘)
暮らしの「当たり前」が高水準(食、住)
日常的なウェルビーイング(温泉施設やスポーツ施設)

しなの鉄道線沿線地域の大切な「資源」

まちの人の声

—みんなの鉄道フェスから—

2023年7月、アリオ上田で開催された「みんなの鉄道フェス」にて、来場者の方々に「この地域がどうだったらいざいかに？」を聞いてみました！

沿線に大人も一緒に遊べる公園がほしい！
沿線の面白い場所がわかる沿線の面白い場所がわかる
キャンプ場がほしい！
駅そばに気軽に泊まれる名所の案内がほしい！
白馬みたいなの、「映える」撮影スポットがあるとほしい！

泊まれる電車に乗りたい！
景色を見ながら食事ができる電車に乗りたい！
温泉やキャンプ場を巡れるさつががあるとほしい！
しなの鉄道の歴史がわかる鉄道博物館や資料館がほしい！
鉄道のグッズショップがほしい！

代表的な意見

しなの鉄道線沿線地域 まちづくり ディスカッションブック

制作：しなの鉄道線沿線地域まちづくり勉強会
2024年3月

しなの鉄道線沿線地域
まちづくりディスカッションブック
しなの鉄道線沿線地域まちづくり勉強会 / 2024年3月

勉強会メンバー

【自治体】
長野市 / 千曲市 / 坂城町 / 上田市 / 東御市 / 小諸市 / 御代田町 / 軽井沢町

【民間企業】
しなの鉄道株式会社 / 上田電鉄株式会社

アドバイザー、ゲスト、事務局 (敬称略)

【アドバイザー】
総括アドバイザー / 東浦 亮典 (東急株式会社常務執行役員)
アドバイザー / 清水 宏之 (株式会社MaaS Tech Japan取締役)
アドバイザー / 田村 英彦 (株式会社ふるしきや代表取締役)

【勉強会ゲスト】
阿部 守一 (長野県知事) ※第3回
小園 拓志 (御代田町町長) ※第5回

【オブザーバー】
長野県 (山岳高原観光課、環境課)

【事務局】
信州地域デザインセンター (UDC信州)

勉強会プロセス

全6回勉強会のプロセス

キックオフ / **地域資源の共有**

第1回 基調講演
○東急の鉄道沿線まちづくり (東浦 総括アドバイザー)
○沿線地域のポテンシャル (田村・清水アドバイザー)

第2回 地域資源アイデアソン
○「互いの資産を生かせるコンテンツや動きとなる回遊の仕組みづくり」をテーマに地域資源をアウトプット。

地域像の検討 / **プロジェクト構想** / **総括**

第3回 フューチャーデザインセッション
○さまざまな立場や年代を想定し、20年後の地域像をアウトプット。

第4回・第5回 プロジェクトプランニング
○社会的インパクトを見据えつつ、まちづくりにつながるプロジェクトのプランニング。

第6回 編集会議
○ディスカッションブックの素案提示
○参加者によるフィードバック

勉強会メンバー

アドバイザー、ゲスト、事務局

Special Thanks!

○アリオ上田 みんなの鉄道フェスでコメントをくださった、来場者の皆さま
○千曲川カヌー下り実証実験をしてくださった、二子玉川カヌー部の皆さま
○プロの目で校閲アドバイスをしてくださった、「毎日走る男まろめろ」さま